

「あつぎ市大学連携プラットフォーム」 基本方針

- ・厚木市内5大学（神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京工芸大学、東京農業大学）
- ・厚木市
- ・厚木商工会議所

神奈川県厚木市と厚木市内に所在する神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京工芸大学、東京農業大学の5大学は、連携、協働に関する包括協定を平成20年6月に締結（「厚木市と神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京工芸大学及び東京農業大学との連携及び協働に関する協定書」）し、これまでも人的、知的、物的資源の交流および活用を推進してきた。毎年、包括協定に基づき定期的に協議会（「厚木市大学連携・協働協議会」）を開催し、連携事業の状況や意見交換を行う等、厚木市と5大学の連携推進は活発に行われている。

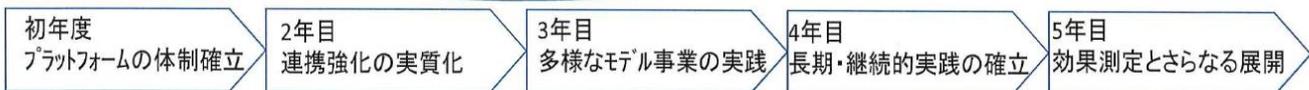
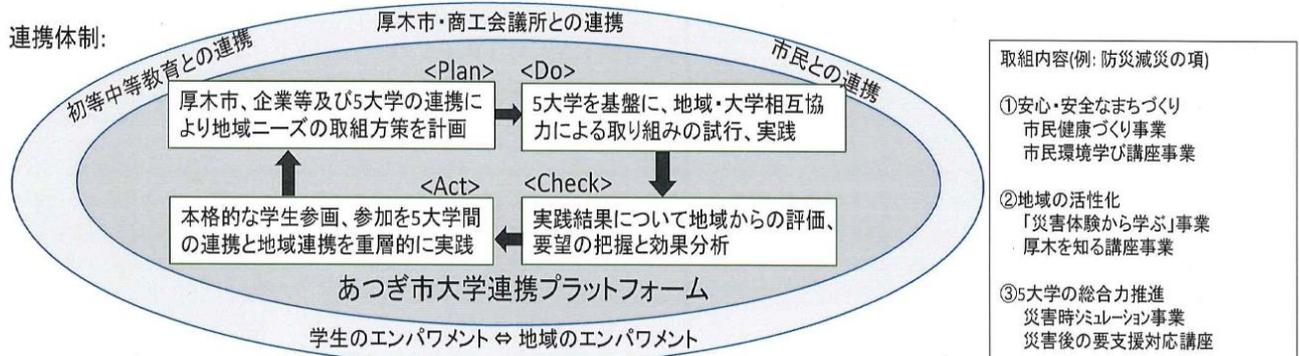
平成30年度に予定している連携事業についても、新規6事業を含む58事業となっており、その交流は厚木市民および厚木市の活性化に深く寄与している。

今回、新たに厚木市大学連携・協働包括協定に基づく「あつぎ市大学連携プラットフォーム」を設置し、厚木市の要請を受けて、「防災・減災」をテーマとして、各校の特色を活かすとともに学生が主体的に地域および地域住民との連携を図りながらその体制を整え、高等教育の活性化につなげていく。

名称: あつぎ市大学連携プラットフォーム

現状と課題:
 ①厚木市は年少人口・労働人口が漸減し、65歳以上が漸増する高齢社会に入っている。→あらゆる世代の市民が支え合うコミュニティの絆形成が求められ、また経済活動においても若い力がさらに必要となっている。
 ②市内5大学をもつ学園都市として若者の力が活用できる。→学生の学びや課外活動を地域に活かす必要がある。
 ③WHOのセーフコミュニティの認証自治体である。→近年、様々な災害が懸念され、本市においても安心して安全に暮らせるまちづくりが急務となっている。

ビジョン・目標・(一部数値目標):
 ①<安心・安全なまちづくりへの協働> 厚木市、企業、5大学が協力し、安心・安全をテーマに多様な協働学習等を行い、地域の防災・減災対応力の向上。
 (数値目標: 協働による定期会合年1~2回開催、5大学学生による防犯パトロール年12回実施、協働による5大学新入学生への「災害時教育」の実施等)
 ②<地域の活性化への協働> 市、商工会議所と連携し、人材育成、地域と一体化した教育活動の推進。
 (数値目標: 市内小中学校を対象とした学生参加型「出前講座」年30件実施等)
 ③<5大学の総合力による高等教育の活性化> 5大学のそれぞれの特性を共有して、横断的授業、共同活動、施設の共同利用などを強化する。
 (数値目標: 共同FD・SD年1回実施、共同公開講座各5講座担当、共同就職セミナー年1回開催等)
 ※ 本計画の方針策定・改定においては、自治体が基盤としているSDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を踏まえて実施する。



年月	到達目標	2018年度				2019年度				2020年度				2021年度		2022年度
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前期	後期	全期
長期ロードマップ		初年度:プラットフォームの体制確立				2年目:連携強化の実質化				3年目:多様なモデル事業の実践				4年目:長期・継続実践の確立		5年目:効果測定とさらなる展開
◆プラットフォームの形成																
【協定】																
-5大学間の包括連携協定締結	2018年9月28日締結	調整	→	◎(締結)												
-厚木市と5大学との包括協定	(2008年6月30日締結済)															
-厚木商工会議所と5大学の包括協定締結	2018年9月28日締結	調整	→	◎(締結)												
【会議】																
-厚木市大学プラットフォーム検討会の開催	(2018年9月27日まで)	(前年度発見)協議継続	→	◎(基本方針の策定、決定)												
-厚木5大学連携協議協議会の開催	(2018年9月28日から)			○(中長期計画の協議・調整後)	→	○(中長期計画の策定)										
-厚木地域プラットフォーム協議会の開催								◎(中長期計画の策定)			○					
【中長期計画】																
◆中長期計画の策定<取組課題、事業の工程表>																
I. 地域ニーズの検討																
①厚木市・5大学協議会開催	2018年度以降 年2回定期協議会実施			○(基本方針の策定)				○								
②商工会議所との協議会開催	2018年度以降 年2回定期協議会実施			○(基本方針の策定)				○								
③教育委員会との会合開催	2019年度以降 年1回定期会合実施			○				○								
④その他自治会、NPO団体との検討会開催	2018年度以降 随時実施			随時				随時								
II. 安心・安全なまちづくりへの協働																
⑤6大学あつぎ地域連携災害PJの設置	プロジェクト設置目標 2021年度			プロジェクト事務局設置準備	→	◎(事務局設置)		地域災害調査、情報収集	→	プロジェクト設置準備	→	◎(PJ設置)				
⑥市内で学ぶ学生への災害時教育(防災意識を持った人材育成)の展開	導入ガイダンスの全大学 実施目標2021年度 安心・安全なまちづくり実 施事業参加者数300名 (2021年度)			課程の整理・検討	→	○(2校で実施)										
⑦地域セルフコミュニティ活動の支援	活動実施年12回、学生延べ 200名参加(2021年度)			○(厚木市セルフコミュニティ世界大会との連携)												
III. 大学が参画する魅力あるまちづくり																
⑧産業振興、観光事業活性化、国際交流支援	連携事業数年73件 (2021年度)			ニーズの調査・検討	→											
⑨元気で活力のある高齢者の力の発揮。世代間を超えたコミュニティのつながりの強化	活動実施年6回、延べ100 名参加(2021年度)			課程の整理・検討	→											
⑩地域における教育活動、地域企業による教育への参画、地域の活性化	出前・受入れ授業テーマ 数30件(2021年度)			○(市職員と大学職員の研修会)												
IV. 5大学の総合力による高等教育の活性化																
⑪各大学の組織力、教育力の強化	FD、SD履修数年1回以上 、教職員延べ75名参加 (2021年度)			○(共同SD) ○(社会人のキャリア形成PO実施) 共同IR 他の実施検討	→											
⑫地域共同による学生のワーアッププログラムの企画、運営	企画・運営年1回以上			共同就職セミナーの企画	→											
⑬地域への教育研究成果の公開、研究の質的向上	共同公開講座各校5講 座、参加者数延べ300名 (2021年度)				→											
		2018年度				2019年度				2020年度				2021年度		2022年度
年月	到達目標	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	前期	後期	全期